

衛星通信用大口径アンテナ自己追尾装置

衛星通信の商用化に備え、1965 年 (昭和 40) に自己追尾装置 (VAT: Vernier Auto Tracker) を開発し、これを世界で初めて大口径カセグレンアンテナに使用した。衛星がアンテナの正面方向からずれると、1 次放射器中に異なったモードの電波が発生することを利用して、この電波がなくなるようにアンテナの方向を制御した。

出典：KDD 社史